

### Ⅲ. 奈良県の多文化共生を取り巻く課題

以上述べてきた、多文化共生に関する県内外の社会情勢の変化やアンケート結果、推進懇話会での意見等から、県内での多文化共生を推進していく上で、以下の課題があらためて明らかになりました。

#### 1. コミュニケーションでの課題

日本語指導が必要な児童生徒から児童生徒の保護者、そして外国人労働者に至るまで、生活の様々な場面で、周囲とのコミュニケーションが困難であることが、大きな障壁となっていることから、きめ細やかな日本語学習機会の確保やコミュニケーション上のサポートなどが強く求められています。

#### 2. 情報提供での課題

各種行政サービスに係る情報に加え、外国人県民も遵守すべきルールを含めた生活の基本情報など、外国人県民が日常生活を送っていく上で必要な情報が外国人県民に十分届いていないことが課題となっており、必要な情報をわかりやすく、適切なツールを利用して伝えていくことが必須となっています。

#### 3. 相談や住居の確保、生活サービスでの課題

外国人県民からの相談内容は、多種多様であり、専門的なものも多くなっている一方、外国人県民数の増加に比して相談件数は伸び悩んでいます。実施日時やツールの見直しなど外国人県民が相談しやすい環境づくりを進めるとともに、各種専門機関などとの連携が重要となっています。

また、住居の確保については、貸主の理解を進める取組、居住支援の体制づくりの強化が求められるほか、健康・医療・福祉などの各種生活サービスにおいては、外国人県民が利用しやすいよう、コミュニケーションの支援やわかりやすい情報提供が求められています。

#### 4. 防災など安全・安心の確保での課題

将来的な南海トラフ地震の発生が予測されるとともに、風水害など災害の激甚化が進む中、自主防災に係る啓発も含め、外国人県民にもわかりやすい形で情報提供することが大変重要となっています。また、発災時の行政などにおけ

る支援体制なども改めて見直す必要があります。

## **5. 地域社会での課題**

外国人県民も日本人県民も、お互いに理解し合い、共生の意識を高めていくことが必要不可欠となっています。そのためには、日常的に外国人と日本人が交流できる活動を促進していく必要があります。

また、外国人県民は比較的若い世代が多く、地域社会での担い手としての活躍も期待できることから、リーダーとなる人材の発掘・育成も重要となっています。

## **6. 外国人材受入での課題**

県内には、魅力的な高等機関が複数存在することから、更なる留学生の受入を促すとともに、留学生の県内での就業や地域での活動を支援することも必要となっています。

また、県内の労働力人口が減少する中、人材不足が深刻な分野を中心に、県内企業や事業所での外国人材の活躍が必要不可欠となっており、そのための受入支援も極めて重要です。